



幹 事 連 絡  
平成26年11月12日  
午後 3 時 15 分

清水海上保安部 警備救難課長 葉梨 健司 電 話：054-353-0118 FAX：054-353-7118
---

## 広 報

平成26年度日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練への参加について

清水海上保安部は、大規模災害時における日本赤十字社との連携強化を図るために、同社が主催する「平成26年度日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練」に下記のとおり参加することといたしましたのでお知らせします。

取材を希望される社は、11月14日（金）17：00までに別添のFAX送信票に必要事項を記入のうえ、清水海上保安部警備救難課（FAX054-353-7118）まで送付願います。

## 記

### 1 実施日時・場所（資料1参照）

平成26年11月16日（日）13：00から14：00まで

静岡市岸壁及び同岸壁着岸中の東海大学海洋調査研修船「望星丸」船内

### 2 参加機関及び勢力（資料2参照）

- (1) 清水海上保安部 巡視船「おきつ」及び巡視艇「ふじかぜ」
- (2) 日本赤十字社静岡県支部 救護班
- (3) 東海大学 海洋調査研修船「望星丸」

同 ライフセービングクラブLOCO（負傷者役）

### 3 訓練想定

大規模地震が発生し、清水港沖を航行中の「望星丸」が地震に伴う津波によって、清水港外港防波堤に座礁、船内に重傷者を含む多数の負傷者が発生し、同船から海上保安庁に対し救助要請。

清水海上保安部から巡視船「おきつ」及び巡視艇「ふじかぜ」に対し同船負傷者の救助を指示するとともに、重傷者への対応のために日本赤十字社静岡県支部に、業務協定に基づく救護班の協力要請を実施。

同支部は駿河湾中央に配備した大型巡視船（洋上救護所）で活動中の救護班を派遣することとし、巡視船「おきつ」は救助班（潜水士4名含む）を編成。

巡視艇「ふじかぜ」が巡視船「おきつ」救助班及び日本赤十字社静岡県支部救護班を「望星丸」まで搬送し、合同で船内負傷者の救助にあたる。

### 4 訓練内容

想定に基づき、以下の内容を一連の流れとして実施する。

#### (1) 合同救助班搬送

「ふじかぜ」により「おきつ」救助班8名及び日赤救護班10名を清水海上保安部船艇基地から、「望星丸」が着岸する静岡市岸壁（清水港外港防波堤と想定）まで搬送する。

#### (2) 船内負傷者救助

「おきつ」救助班及び日赤救護班に「ふじかぜ」乗組員2名を加え、合同救助班を編成、岸壁から「望星丸」船内へ進入し、船内の負傷者（約20名）の救助にあたる。

#### (3) 負傷者搬送

「望星丸」船内の負傷者を「ふじかぜ」船内へ搬送する。

#### (4) 活動情報管理

訓練開始から終了までの間、巴川河口に着岸中の「おきつ」船内において、合同救助班からの情報を集約管理し、「望星丸」乗船の訓練運営スタッフ（清水海上保安部と想定）へ無線で報告する。

#### 4 その他

- (1) 訓練資料を添付しますので訓練内容、場所及び駐車場所をご確認願います。
- (2) 訓練当日は、「望星丸」着岸の静岡市岸壁に12:30までに集合願います。
- (3) ヘルメット及び救命胴衣を持参していただき、取材時には着用願います。
- (4) 取材中は自社腕章を着用し、当部担当者及び日本赤十字社担当者の指示に従って行動して下さい。
- (5) 取材対応場所は、「望星丸」船内及び付近岸壁上となり、「おきつ」及び「ふじかぜ」船内の取材は承れませんのでご了承願います。